

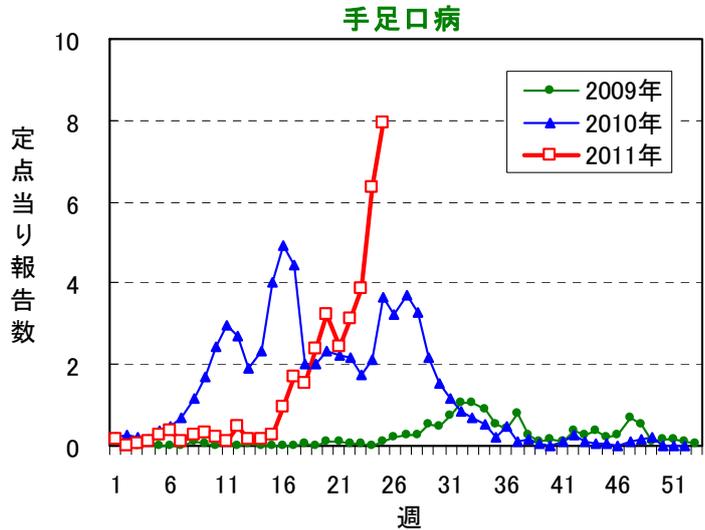
■コメント

1. 手足口病

定点当たり7.96人と引き続き増加しています。
 手足口病は、手のひら、足の裏、口の中の粘膜などに水疱性の発疹ができるウイルス性の疾患で、コクサッキーウイルスA16型やエンテロウイルス71型などのエンテロウイルスによって起こります。今年は全国的にコクサッキーウイルスA6型が多く検出されています(次頁参照)。
 広島市衛生研究所の検査においても、コクサッキーウイルスA6型が検出されています。
 コクサッキーウイルスA6型などのエンテロウイルスは、髄膜炎の原因にもなりますので注意が必要です。

2. ヘルパンギーナ

定点当たり1.50人とやや増加しています。例年6月~8月ごろに流行しますので、今後の動向に注意が必要です。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平過 均去 5年 (注)	発生 記号	疾患名	報告数	定点当り	平過 均去 5年 (注)	発生 記号
インフルエンザ	-	-	0.15		ヘルパンギーナ	36	1.50	2.05	↗
咽頭結膜熱	11	0.46	0.63		流行性耳下腺炎	12	0.50	0.86	
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	25	1.04	1.51	↘	RSウイルス 感染症	-	-	0.02	
感染性胃腸炎	82	3.42	4.94	↘	急性出血性 結膜炎	1	0.13	0.03	
水痘	15	0.63	1.95	↘	流行性角結膜炎	8	1.00	1.23	
手足口病	191	7.96	1.48	↘	細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	33	1.38	0.62	↘	無菌性髄膜炎	1	0.14	0.31	
突発性発疹	11	0.46	0.76		マイコプラズマ 肺炎	5	0.71	0.43	
百日咳	6	0.25	0.11		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	7	132	男性(40歳代)・1人、女性(40歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、女性(80歳代)・1人、女性(90歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	2	女性(80歳代)
5	風しん	1	2	男性(30歳代)

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
							4	7	39	107	28	58	24	18	-	15	12	2	-	14	-	-	1	-
報告数	広島市	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週																		
	広島市	0.11	0.29	1.63	4.46	1.17	2.42	1.00	0.75	-	0.63	0.50	0.08	-	1.75	-	-	0.14	-					
	広島市	-	0.21	0.92	5.63	0.67	3.13	1.21	0.71	0.13	1.00	0.83	-	-	0.75	-	-	0.29	-					
	広島市	-	0.54	1.04	4.75	1.33	3.88	1.04	0.38	0.25	1.04	0.46	0.13	-	0.38	-	0.14	0.14	-					
	広島市	-	0.29	1.50	4.08	1.17	6.33	1.00	0.46	0.33	1.21	0.54	-	-	0.50	-	-	0.29	-					
定点当り	全国	第23週	第24週				0.53	0.72	2.54	5.61	2.09	1.68	1.04	0.60	0.03	0.56	0.91	0.10	0.05	0.72	0.04	0.03	0.59	0.02
	全国	0.29	0.73	2.26	4.86	2.07	2.60	0.96	0.69	0.04	0.86	1.11	0.08	0.19	0.82	0.02	0.03	0.51	0.03					

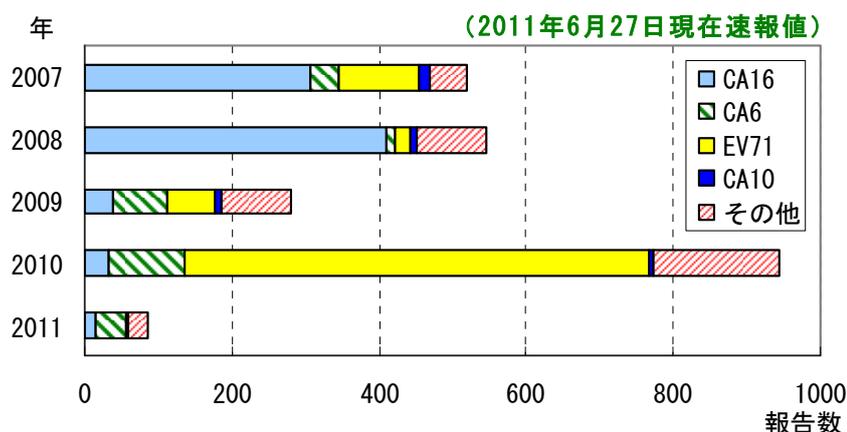
■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.4) インフルエンザ様症状	14	男	2011/06/02	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型
手足口病	発熱(39.0) 丘疹 熱性痙攣	4	男	2011/05/18	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
無菌性髄膜炎	発熱 髄膜炎 嘔吐 唾液腺腫脹	5	男	2011/05/01	髄液	ムンプスウイルス
無菌性髄膜炎	発熱(39.6) 髄膜炎	6	女	2011/05/13	糞便 鼻汁(拭い液) 糞便	コクサッキーウイルスA6型 ヒトヘルペスウイルス6型
無菌性髄膜炎	発熱(38.5) 熱性痙攣 髄膜炎	1	女	2011/05/19	咽頭拭い液	アデノウイルス2型 ヒトヘルペスウイルス6型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 上気道炎 下気道炎	2	女	2011/05/17	鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス
その他の消化器疾患	嘔吐(胃腸炎) 腹痛 腸重積	0	女	2011/03/30	糞便	アデノウイルス31型
その他の疾患	発熱(39.1) 熱性痙攣	9	女	2011/05/17	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】全国における手足口病患者から検出されたウイルス報告数(出典: 国立感染症情報センター)



手足口病は、毎年夏をピークに乳幼児の間で流行するウイルス性感染症です。原因ウイルスは主にコクサッキーA16型(CA16)、エンテロウイルス71型(EV71)で、その他コクサッキーA6型、A9型やA10型などのエンテロウイルスによっても発症します。2010年はEV71が多く報告されましたが、2011年はCA6の報告数が増加しています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2011年第25週(6月20日~6月26日)